

はにい

人って本来

平成26年7月22日

小学校の研究授業。

参観する先生方は、子どもたちの傍に寄り、そこに書かれていること、そこで話されていることに注目しています。手前で活動の様子を撮影しているのは校長先生です。

今日は、他校からも先生が参観に来ています。高校の先生も3人来ています。



研究協議に参加した県立高校の先生は、最後に感想を語りました。



「こんなふうに、教師同士が熱く議論をし合うという機会がこれまで無かったので、すごく刺激を受けました。

そもそも、小学校の授業を見るという機会が無かったのですが、今日は子どもたちの学ぶ意欲をすごく感じました。

子どもたちを見ていて、『あ、人ってというのは、本来、こういう純粋に学ぶ気持ちがあるんだなあ』というのを感じました。

明日から、高校でいかにその気持ちを引き出していくのか、ということを考えてました」



もう一人の先生も語りました。

「わたしも、グループワークを授業に取り入れているのですが、どうしても、発表する側に目が行ってしまいます。皆さんの協議を聞いていて、聞く側が繋げていくという観点で見れば、いいグループワークができるのではないかな、と学びました。

本当に今日は来て良かったです」

数年後、この先生方は、この小学校の子どもたちと高校で再会するかもしれません。

『はにい』はコミュニケーションツールです。みんなで語り合しましょう。
ご意見・ご感想は → inochi4027@pref.kanagawa.jp